

広 報

みなみふらの

9

2018. SEPTEMBER No.750

かなやま湖太陽と森と湖の祭典



第2回イランカラプテ音楽祭
イランカラプテ大合唱（7月28日）

第47回かなやま湖湖水まつり 第2回イランカラプテ音楽祭



わがまちの一大イベント「第47回かなやま湖湖水まつり」と「第2回イランカラプテ音楽祭」が7月28日(土) かなやま湖畔キャンプ場で行列多彩な催しに観光客らが多数訪れ賑わいをみせました。

幾寅・金山保育所園児による「よさこいソーラン」を皮切りに、子どもたちに人気の「怪盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー」、陸上自衛隊上富良野駐屯地音楽隊吹奏演奏と太鼓同好会の和太鼓演奏、町内小中学生や女性団体、北海道民謡連盟の会員など300人の踊り手が場内を埋め尽くした「大湖水音頭」が行われました。

会場内ではかなやま湖クリエーターズマーケット「KANAKURU」、農協青年部による「もちつき」やポテトチップスの無料配布、フワフワの子どもランド、町内農産物の販売や食べ物や飲み物の各出店などキャンプ場に8千人の来場者が詰めかけました。

午後からは「第2回イランカラプテ音楽祭」南心らの」が行われ、小中学生や千里大学生、

ゆかいな仲間の合唱団による「イランカラプテ」大合唱、「北海道命名から150年を迎え、アイヌ語の由来や南富良野町の好きなどころ」を発表する中学生の群読、芥川賞作家新井満さんと阿寒湖在住のアイヌ民族で演出家の秋辺デボさんのスペシャルトークショー、旭川チカッブニアイヌ民族文化保存会による「アイヌ古式舞踊」、李広宏、トフ・エ・モフの「スペシャル歌謡ステージ」が行われ、ファイナリーは出演者と来場者で「イランカラプテ」の大合唱が行われました。

夜にはステージにおいて「ほいけんたお笑いものまねショー」や「まねだ聖子お笑い歌まねショー」、本町出身の演歌歌手「石上久美子の歌謡ステージ」などが繰り広げられ来場者を楽しませました。ファイナリーを飾る花火大会では、約2000発の色とりどりの花火が夏の夜空を華やかに彩り見物客を魅了しました。その他力又1体験試乗会や金山タム見学会が行われ、盛りだくさんの催しを楽しみました。



南の国の真夏に挑む体験の旅

「沖縄県での思い出」



南富良野小学校 石附 未羽

私達は六月二十五日から六月二十九日まで沖縄県へ行ってきました。飛行機から降りたら、とても暑い暑さでびっくりしました。

私が楽しかったことは、海に行ったこと、ホームステイをしたことです。海では、バナナボートに乗ったり貝がらを拾ったりしました。バナナボートはとても速くてびっくりしました。一番前に乗った時は顔に水しぶきがかなり目がいなくなりましたが、とても楽しい経験でした。

ホームステイでは、カヌーやサップをしました。私はサップをやった事がないのでどんな物か知りませんでした。やってみると、流されそうになったけど、とても楽しかったです。そのまま服で海に入



歓迎夕食会のよさこい披露

りました。沖縄の人は、服のまま海に入ると聞いてびっくりしました。帰って来たらビーチサンダルに模様をほりました。始めた時間がおそかったのでねむたかったです。ねむたかったので、少し失敗してしまった部分もありました。ホームステイの人という

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は、今年で28回を数え「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、6月25日から29日までの日程で町内2校の小学6年生16名と随員5名が本部町を訪れ、南国沖縄の暑さと文化を体験しました。参加した児童の思い出を、感想文で紹介しします。

でもわかりやすかったです。詞の書いてある本があり、小学一年生の書いた詞に私は心をしめつけられました。もう戦争は二度としてはいけないと思いました。

この体験の旅では、時間を見て行動することや、班長としてまとめることなどをがんばりました。この経験を生かして、今後の学校生活に生かしていきたいと思っています。また沖縄に行ったら、今回の旅で経験していないことも体験してみたいです。

この旅へついて行ってくださいみなさん、ありがとうございました。



南富良野小学校 猪口 紗希

私は、六月二十五日から六月二十九日まで沖縄に行っていました。

沖縄で学んだことは、家の

造りです。玄関フードなどがなくてびっくりしました。沖縄に行くと楽しかったことは、三つあります。一つ目は、美ら海水族館に行ったことです。ジンベエザメを近くで見ると、すごく大きくてびっくりしました。ほかに、サンゴやウミガメなどがいっぱいいて、きれいでした。イルカショーでは、イルカがフライングをしたり、大江ジャンプをしたりしてすごかったです。



本部小学校と交流

二つ目は、グリーンフラッシュビーチに行ったことです。バナナボートに乗ってみると顔に海水が、いっぱいついてしょっぱかったです。途中で、はねたりして楽しかったです。私は、バナナボートにもう一回乗りました。

海にも入ったけれど、バナナボートがおもしろかったです。三つ目は、ホームステイをしたことです。まず、海で

いると、魚が海から流れてきてびっくりしました。ヤドカリはさわれなかつたけど、かわいかったです。

今回の体験で、北海道では体験できないようなことをしました。このことを家族にも伝えていきたいです。またいつか、沖縄に行きたいです。

六月二十五日から二十九日

「沖縄で体験したこと」



南富良野小学校 河原 朋夢

まで沖縄に行きました。そこで学んだことがあります。それは戦争です。

ひめゆりの塔では、当時のじょうきょうや戦争の暮らしについて学びました。まずじょうきょうは、空ばくや鉄砲の音が絶えない状況で先祖の墓の中にかくれたりするなど戦争の苦しさを学びました。戦争の暮らしは、どうくつの中などで暮らしていました。この学習を通して、このような戦争は絶対にしてはいけないことだと思いました。

そして、楽しかったことが三つあります。一つ目は二日目のグリーンフラッシュビーチに行ったことです。ビーチでは、人生初めてバナナボ



陶芸体験

トに乗りました。スピードが出てとても気持ち良かったです。すごく楽しくて何回も乗りました。

二つ目は三日目のホームステイです。久しぶりに友達と会えたのはとてもうれしかったです。まず家に行くと、家がコンクリートだったのと、玄関フードが無くて北海道の家のちがいがいについて学びました。夜は、バーベキューと花火をしました。沖縄の肉は、とてもやわらかくて、おいしかったです。花火は線香花火や打ち上げ花火をしました。打ち上げ花火は不発の物もありましたが、とてもきれいで

三つ目は四日目の国際通りです。そこでは班で行動し、家族のお土産を買いました。

いて学び、楽しい事もたくさんしました。平和学習では、若い人でもたくさん犠牲者が出てしまっているのいい友達とも会えなくてとても苦しい戦争の事を学び



南富良野小学校 辻澤 花梨

「初めての体験」

シーサーや沖縄限定のストラップなども買いました。あまりの暑さにアイスも食べました。

私は沖縄で平和や気候につ

いて学び、楽しい事もたくさんしました。

平和学習では、若い人でもたくさん犠牲者が出てしまっているのいい友達とも会えなくてとても苦しい戦争の事を学び



マリリン体験

ました。壕の中でも病気や食料不足で苦しかったと思います。もう絶対に戦争を起さしてはいけないと思います。沖縄の気候は、北海道と全然ちがいが、立っているだけでたくさん汗が出てきて、たおれそうでした。夜でも蒸し暑くて、外に半そででも暑かったのでびっくりしました。雨が降っても、すぐに止んで晴れてきたこともおどろきました。

楽しかった事は、美ら海水族館に行ったこと、ホームステイをしたことです。

美ら海水族館では、大きなジンベエザメやマンタ、カメを見ました。ジンベエザメが思っていたより大きくてきれいな色でした。マンタはエサを食べる時の口の形や泳ぎ方が面白かったです。カメは色々な種類がいて、大きかったです。こちらの形や尾の長さでカメを見分けられることを知りました。水族館はとても楽しかったです。また行きたいです。

ホームステイでは、仲村陽和ちゃんの家に行きました。海に行くと泳いでから、焼肉をしました。海にはだれもいなくて、静かでした。私は海で上を向いて寝ることができ

なかつたので陽和ちゃんに教えてもらいました。何回も練習すると、できるようになりました。砂に穴があいていて、穴をほるとカニが出てくることも教えてくれました。陽和ちゃんのお兄ちゃんと三人でとりました。動きが速くてかわかつたけど、持ち上げるのができました。焼肉も砂場で食べました。すごくおいしくて、たくさん食べました。家に帰って、お風呂に入ると浴そうがなくてびっくりしました。とても楽しかったです。こんな貴重な体験は、できないと思います。支えてくれた家族、南富良野町、本部町のみなさん、ありがとうございました。

「沖縄の思い出」



南富良野小学校 山下 胡春

私は、沖縄で学んだことがありました。

学んだことは戦争についてです。いろいろな戦争の資料を見学して、一番に残ったのは、ひめゆりの塔とひめゆり平和祈念資料館です。ひめゆりの塔では、バスガイドの人が説明をしてくださいました。ひめゆりの塔の下には、

富良野消防署南富良野支署
☎52-2119 FAX52-2979
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp
災害案内 ☎52-3119

おのほ しょうぼう広報

9月9日は「救急の日」

救急の日とは数字の語呂合わせのとおり、救急医療に関係する国民の正しい理解と認識を深めることを目的に厚生労働省が制定しています。突然「大切な人がいきなり目の前で倒れたら…」という事態に遭遇するかもしれません。また、それが心停止に陥っている可能性もあるかもしれません。

今回は、このような事態に陥ったときの基本的な動きを紹介しますのでご確認ください。

①倒れている人に呼び掛ける



傷病者の肩などを叩きながら声をかけます。何度も声をかけたが反応がなかった場合は「意識なし」と判断します。意識があっても容体に変化する可能性がありますので119番通報してください。

②AEDを探す



倒れている人を助けるにあたり、非常に重要な機械です。町内の公共施設(学校や公民館など)に設置しています。協力してくれる人がいたら取ってきてもらうよう依頼します。

③119番通報を行う



速やかに119番通報し、起こっている状況を通信員(消防)に伝えましょう。特に場所は重点的に聞きますのでそのままお答え下さい。

④心肺蘇生法を行い、通信員の指示に従う



心肺蘇生法(胸骨圧迫や人工呼吸)の方法がわからない場合は通信員(消防)の指示に従って行動してください。救急車のサイレンが聞こえてきたら誘導の協力をお願いします。

救急クイズ

2018年現在、北海道内で運用されているドクターヘリは何機あるでしょう?

- A 2機
- B 3機
- C 4機
- D 5機



救急クイズ 答え C~4機

道北(旭川)、道東(釧路)
道南(函館)、道央(札幌)
にそれぞれ1機ずつあります。

南富良野支署出動件数(平成30年1月~7月末現在)
救急出動 66件(内ドクターヘリ要請件数5件)
火災出動 3件(内他市町村応援出動0件)
救助出動 1件

住宅用火災警報器の確認・交換をしましょう!

新築住宅では平成16年6月1日から、既存住宅では平成23年6月1日から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。電池の寿命は約10年と言われてますので作動確認を行い電池交換をしましょう!本体の電子回路が劣化している可能性もありますので本体ごと交換することをお勧め致します。

と戦争は起こしてはいけな
と思いましたが、
楽しかったことは二つあり
ます。



国際通り散策

病気があって、米軍にガスだ
んを投げこまれて中にいた人
の半分以上が亡くなったそう
です。
ひめゆり平和祈念資料館で
は、ひめゆり学徒隊について
学習しました。説明員の人が
証言ビデオを見せてくださり
「生きていてよかったです。でも
死ねばよかった」と言う言葉
がありました。生き残ったひ
めゆり学徒の人たちは、いつ
も自分だけ生き残ったことへ
の罪悪感があったそうです。
資料館の中には、ひめゆり学
徒の写真がはってありました
この平和学習で、もう二度



南富良野西小学校
花岡 瑞己

一つ目はホームステイです。
最初は大嶺礼楓さんの家に行
きました。焼き肉やさいか割
りをしました。礼楓さんは5
人きょうだいで、一番上のま
なさんは、体験の旅で北海
道に行ったそうです。九時く
らいに、並里萌花さんの家に
金城海月さんと礼楓さんと私
でいきました。萌花さんのお
母さんはとてもやさしくして
くれました。ホームステイを
受け入れて下さったみなさん、
ありがとうございました。
沖繩の教育委員会のみなさ
ん、南富良野教育委員会のみ
なさん、ありがとうございました。

「あと十日くらい、沖縄に
」
「本部町交流で学んだこと、楽しかったこと」
「あー、いいね」沖縄へ行った五
日間でたくさん思い出を
くっつけてきました。その時、
特に楽しかったこと、勉強に
なったことを伝えたいと思
います。
楽しかったことは、特に二
つあります。一つ目は、ホ
ムステイです。受け渡しの
後に、ホームステイでお世話
になる大城さんと一緒に海へ



琉球ガラス製作体験

行き、泳ぎました。さらにバ
ナボートにも乗りました。
日中のものよりもとても速
かったです。二日目のグリー
ンフラッシュビーチでもバ
ナボートに乗りましたが、大
城さんと乗った時の方がと
ても速くて気持ち良かったです。
夜はその海でバーベキューを
食べました。他にも、さいか
わりをしたり、水きりをして
り、とても楽しい夜となり
ました。
二つ目は、三日目に行った
エヌラルドビーチです。北海
道とはちがいで、砂は白く、海
の水もキラキラと光り、すき
通っていました。その風景を
見て、とてもうれしくなりま
した。泳いでいると、十センチ
メートル位の魚が泳いでい
るところをみかけました。そ

の魚をつかまえようと思っ
たけれど意外と動きが早く、逃
げられてしまいました。うき
輪に乗ろうとした時は、何回
も落ちてしまったけれど、楽
しかったです。
勉強になったことも、特に
二つあります。
一つ目は、四日目の、平和
学習です。平和祈念資料館等
に行き、平和についてのこと
をたくさん学習してきました。
沖縄戦では、多くの人々が亡
くなったそうです。ひめゆり
学徒隊は、負傷
者の治りように
あたっていたと
いうことがわか
りました。これ
から、わかった
ことを多くの人
に伝えて行きたい
と思います。
二つ目は、
ホームステイで
す。楽しかった
だけではなく、
多くのことを学
べました。社会
で学習した北海
道との家のつく
りちがいが、沖
縄の人のくらし
の工夫など、実
際に確かめるこ



とができました。また、屋根
の上に水をためるタンクが
あったり、白っぽいカベの色
が多かったりする様子を、自
分の目で見るのができました。
教科書で学んだ沖縄での
くらしを実感できたと思いま
す。
この体験でわかったこと、
楽しかった事をまとめ、多く
の人に知ってもらいたいと思
います。本部町交流は、とて
も良い体験となりました。

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

七夕まつりを楽しむ（8月7日）

町商工会（曾慶一介会長）の主催による恒例の「こども七夕まつり」が幾寅駅前広場で開催され、親子連れなど多くの人が参加しました。

午後5時に集まった子どもたちは、4グループに分かれ商店街を回り、ロウソクと花火やおやつ等をもって会場では流しソーメンが行われたほか、子どもたちは無料で配られた花火をしたり、たこやきやおもちゃなどの露店が出店され、参加した親子連れの皆さんは、楽しい一夜を過ごしました



かなやま湖で自衛隊訓練（8月8日）

陸上自衛隊上富良野駐屯地第4特科群がかなやま湖で総合訓練を行いました。

この訓練は、災害発生に伴い湖で要救助者を救助する想定で訓練が行われ、本番さながらに隊員が協力し、救助後迅速にヘリコプターで搬送しました。

訓練終了後は、旧東鹿越小学校で町内関係機関と自衛隊隊員との交流会も併せて行われ、親睦を図りました。



がんばれ！西日本！支援物資を輸送（7月27日）

町社会福祉協議会（森敏範会長）は、7月の西日本豪雨で甚大な被害を受けた被災地を支援するため、一昨年8月豪雨災害でボランティア等で使用した、リヤカーやスコップ、バケツなど約600点を岡山県倉敷市の災害ボランティアセンターへ送りました。

この日は、社協職員等が用意したトラックに積み込み「一日でも早い復旧を」の気持ちを込め送りました。



夏の自然を満喫（8月3日）

福島県の5家族が参加し、夏の富良野地方を体験するプログラムがかなやま湖スポーツ研修センターを拠点に行われました。

ふらのチャリティーウォークの主催で行われたこのイベントには、福島第一原発事故で不自由な生活を送っている家族に自然に親しんでもらうことを目的に開催しているもので、今回はミニトマト狩り体験や湖周辺の自然散策などが行われ、南富良野の大自然を満喫していました。



子ども朝活事業「南プ塾」(8月3日)

夏休み中の生活習慣の定着習慣を図ることを目的として「南プ塾」が行われました。

3日間の開催に延べ148名の児童が参加、高校生ボランティアや社協ボランティア、社会教育委員などが児童たちをサポートしました。

期間中夏休みの宿題や運動、バルーンアートや竹とんぼを作るなど参加した児童たちは様々なイベントに取り組みました。



「幾寅地区盆踊り大会」夏を楽しむ（8月18日）

幾寅地区連合町内会（阿部修一会長）が主催する「地域ふれあい盆踊り大会」が町民体育館で行われました。

大会では子ども盆踊りや仮装盆踊りが行われ、仮装の部では個人・団体に分かれて出場者はそれぞれ工夫を凝らした衣装で登場し、見物客を楽しませていました。

ブルーベリー摘み体験（8月20日）

金山高台地区にある小果樹農園で金山保育所園児がブルーベリー摘みを行いました。

紫に色づいたブルーベリーを食べながら一つずつ丁寧に採り、紙コップ一杯に摘み取りました。

金山小果樹農園では、ブルーベリーなどの摘み取りを町民限定で9月30日（日）まで開放しています。甘くておいしいベリーなどを食べながらの摘み取りはいかがでしょうか。

※毎週月曜日休園（月曜日が祝日の場合は火曜日）
訪れる際は要連絡（鹿野さん ☎090-2691-4895）



「とれたて野菜まつり」(8月4日)

J Aふらの南富良野支所とれたて野菜まつり実行委員会主催による「第17回地場産とれたて野菜まつり」が道の駅物産センター横の広場で開催され、多くの買い物客や観光客で賑わいました。

とれたてのミニトマトやスイートコーン、じゃがいもなどが並び、格安で販売されました。

このほか、地域の美味しい主力野菜を原料にしたポトフや牛乳が来場者に無料で提供、ゆでとうきびの販売や名物の人参の詰め放題が行われました。



教育委員会通信

公民館本館事業 熊の生態と被害防止対策講座

本年、全道的に「熊」の出没が増え、本町においても目撃情報が多く寄せられています。これからのシーズン、登山やキノコ狩りなどで山に入る機会も増えることから、熊に遭遇しない対策や遭遇した場合における対応等について、正しい知識を学んでいただくため、下記の日程で講座を開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

○日時 9月18日(火) 18時00分～

○開催場所 幾寅 情報プラザイベントホール

○参加料 無料 ※事前申込みは不要です。

○内容 専門家を講師に招き、被害防止対策等について講演をいただきます。

住民自主企画活動支援事業 第8回「こどもえほんまつり」

子育て支援ボランティアサークルWISH(ウィッシュ)主催の住民自主企画活動として、子どもたちにたくさんの本に触れ、本の世界を知ってもらうことや面白さを知ること、更には子どもの発達を促す「おもちゃ」の講話など、実際に「手に取り・触れて・体感すること」を目的に、第8回「こどもえほんまつり」が開催されます。ぜひ、ご家族でご参加ください。

○日時 9月30日(日) 13時から18時まで 10月1日(月) 9時から15時まで

○場所 南富良野小学校 体育館

○参加料 無料

○内容等 (30日) 13時00分～ 本の展示(大型絵本、しかけ絵本もあります)
(1日) 9時00分～ 本の展示
11時00分～ おはなし会(絵本の読み聞かせ)
13時00分～ おはなし会(絵本の読み聞かせ)

南ぶの自然シリーズ②

自分達が自ら食糧を調達して食べることは、昔の人は生活の中で当たり前のようにしてきたはずですが、その中で「いただきます」という言葉が生まれたのだと思います。現代は、スーパー等で切り身になって売られている魚が食卓に上がることが殆どです。便利な反面、生き物の命をいただいている自分達が生かされているという実感が薄れているように感じます。そんな現代だからこそ、自然の恵みに敬意を表す機会が必要です。価値観を育むことで、南ぶの良さに気付く、この豊かな自然をずっと守り続けてくれたらと思います。



【内容】7月31日と8月7日、町内の小中高校生を対象に夏休み自然体験会を行いました。参加者は南富小と西小の3年生と5年生が2日間で9名参加してくれました。落合地区を流れる空知川の支流で、魚のエサになる虫を捕まえ魚釣りをしました。釣った魚を捌き、薪を集めて火を起し、最後は皆でおいしくいただきました。皆が熱心にそれぞれの役割を果たし、南ぶの自然にふれて楽しむことができました。

【雑学】アイヌは利用する生き物に敬意を表し名を「○○カムイ」と言います。アイヌが食べていたサケは「カムイチエプ」、ヒグマは「ヌブンカムイ」など神様からの贈り物という感謝の気持ちが込められています。限りある資源の持続的活用について先人の知恵や生活を現代に取り入れるべき時代にきているのかもしれない。

【自然体験事業を終えて思うこと】南ぶには絶滅危惧種に指定されている動植物が数多く生息しています。豊かな自然に触れ楽しく過ごすことで、南ぶが「資源がたくさんある町」として自然に価値を見出したことになりました。子供たちの楽しそうな表情を見ると「南ぶの良さを感じてくれてるな」と嬉しくなり、子供たちが楽しく過ごせる環境をずっと守っていかねければと思います。次回イトウから見た南ぶの自然を紹介します。

南富高新聞

第17号 発行 南富良野高等学校

南富良野中学校進路説明会

7月23日(月)に南富良野中学校で本校による進路説明会が行われました。初めに、本校教員から高校選択についての説明があり、「高校は学力だけで決めるのではなく、高校の特色や自分のやりたいことを考え、決めてほしい」と主旨が述べられました。

続いて、3年生の須甲君が、本校の特色についてパワーポイントを用いてプレゼンテーションを行いました。町や振興会からの補助の充実や資格に挑戦する際の検定料が補助されるのでチャレンジしやすいこと、部活動で全国大会に出場する場合も遠征費の補助で個人負担が非常に少なく済むことなどを強調していました。本人もカヌー部でインターハイに出場したり、国際交流派遣事業でオーストラリアに行くなど本校が「自分のため」に頑張っていること、最高校である「南富高」であることと熱く語っていました。

南富良野中学校から本校



に進学し、現在、大学・専門学校や社会人として活躍しているOBの3名も卒業生からのアドバイスを届けるためこの会に駆け付けてくれました。南富良野町振興公社へ就職した富所さん、富良野緑峰高校農業専攻科へ進学の大田さん、北海道教育大学岩見沢校を卒業し、現在本校に学習支援員として勤務している金澤さんです。中学生時代に考えていたことや、どのように高校を選択したのか、そして現在どんなことに努力し目標を持って活動しているかなどをお話していただきました。それぞれの経験を、南富良野中学校の皆さんも笑顔の中にも真剣な表情を見せ、充実した時間になったようでした。担当教員は「今後の進路選択に役立つ企画になれば幸い。南富中の皆さんに喜んでいただけた様子で何よりです」と胸をなで下ろしつつ、9月4日(火)に本校で実施する「見学説明会」の計画立案に余念がないようです。

シリーズ学校だより 188

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野高等学校▶▶



【南富良野高校の進路指導】本校では、第1学年の数学・英語について習熟度別授業を展開し、個々の力に応じた学習を行ってまいります。第2学年からの類型選択授業は、大学や短大等への進学希望者向けのI型と就職希望者向けのII型とから成ります。I型においては、2種類(文系・理系)からの選択が可能です。大学入学共通テストを受験し国立大学への入試にも対応しています。町や教育振興会による助成を受け、各種模擬試験の成績をもとに現在の学力を客観的に把握し放課後や長期休業期間の指導体制(講習など)に繋げていきます。近年は、北海道教育大学岩見沢校などの国立大学や道内私立大学へスポーツ(カヌーやカーリング)を活かした進学を果たしています。II型では、情報処理・簿記などの検定取得に向けて挑戦するなどして実力を養成します。

【ICT機器の更新】8月、コンピュータ教室のコンピュータが全台ノート型からデスクトップ型へ更新されました。企業における文書作成や表計算(統計データ処理)の学習をより円滑に進めることができます。また、ホームルーム教室には天井吊り下げ型のプロジェクターが設置され、デジタルの画像教材を提示しつつ、これまでどおり黒板も用いて説明を加えるような授業を展開予定です。さらに、新たに追加され総数25台となったタブレット型コンピュータを用いて、生徒全員がインターネットで調べたり、調べた結果をプレゼンテーション形式にまとめたりするような授業を展開する予定です。

子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

☎52-2315
子育て支援センター ☎090-5985-4339

今年の夏は暑い日が続きましたね。みなさん体調を崩していませんか？朝晩は涼しくなってきましたが、まだまだ日中は暑い日が続きます。気温の変化に合わせて服装を調節し体調を整えましょう。夏の疲れが出やすい時期ですので十分な睡眠と栄養で乗り切りましょう！！



講師をお招きして、マタニティヨガ♪のんびりした音楽と香りの中でストレッチ。心も身体もリラックス。



落合どころ野外学校に遠足。丸太の橋を歩き、川を渡り、葉っぱのかさでハイチーズ！！自然を満喫し大満足。



みんなで楽しい水遊び。ペットボトルシャワーに、噴水。暑い日には、お水遊びが1番楽しいね♪



ブックドクターあきひろさんをお招きし絵本の読み聞かせを行いました。保育所のお友達もお話の世界に釘づけです。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

暑い日が続き子ども達は元気に水遊びを楽しんでいます。

はじめは、戸惑っていた子ども今では少しくらい顔に水がかかっても平気になり頭から水浴びしている子どもいます。

北海道の短い夏を満喫している子ども達です。



金山保育所

7月の製作でフィンガーペイントをしました。絵の具に洗濯のりを混ぜて、スライムに近い感触の絵の具を作り、手を使って自由にお絵描きをして楽しみました！最後には余った絵の具でお友達と体に塗り合ったりして満喫していました♪



こんにちは
保健師です！
保健福祉課保健指導係
☎52-2211

むし歯とは ～むし歯の原因と条件～



むし歯は「歯質・糖・細菌」の3つの原因と「時間の経過」を加えた4条件で発生します。

南富良野町立歯科診療所診療時間

平日	月曜～金曜日	※土日祝日は休診です。
午前	9時00分～12時00分	
午後	14時00分～18時00分	
18時までには受付できない場合は、事前にお電話ください。○歯科診療所 ☎52-2452		

1. 歯質

歯質は、エナメル質の構造、歯並び、唾液の量と質が関係していると言われています。

2. 細菌

細菌は、代表的なのはミュータンス菌と呼ばれるもので、これは糖を分解して、エナメル質を溶かす酸をつくります。

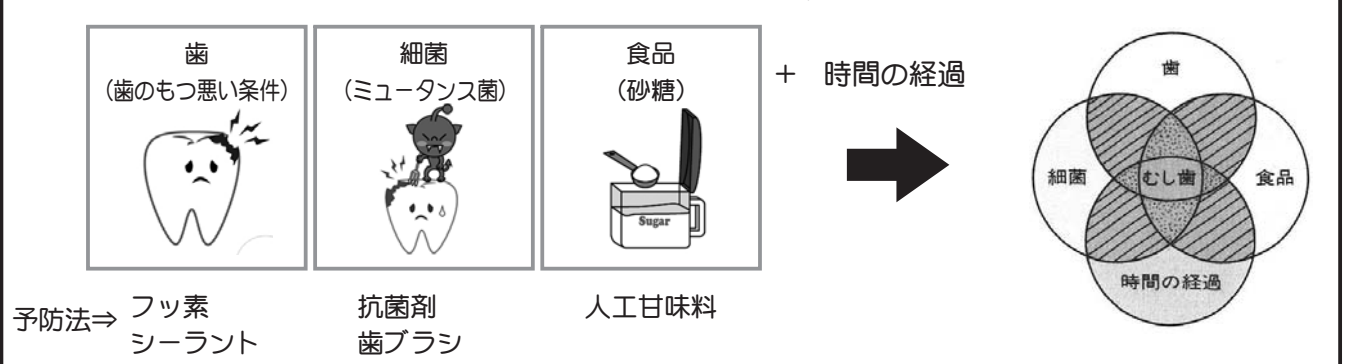
3. 砂糖

砂糖は、むし歯菌のエネルギーになり、糖を含んだ食べ物を摂取することで、むし歯菌の動きが活発になり、酸を出します。

4. 時間の経過

1から3までの条件に「時間の経過」が加わって、むし歯の4条件がそろってむし歯になる条件が成立されます。

むし歯をつくる4つの条件



保健師からワンポイント

「食べたら歯を磨きましょう」昔からよく耳にする言葉ですが、やはりむし歯予防には、歯磨きが大切です。

特に、就寝中は唾液の量が減るので寝る前は丁寧に歯磨きをしましょう。お子さんのいる家庭では、お父さん・お母さんが仕上げ磨きをしてむし歯を予防しましょう。

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。
南富良野町へ

- 幾 寅 一條節子様より故一夫様生前のご厚志に対するお礼として 三十万円
- 石狩市 中山 正男様 一万円
- 埼玉県 天野 猛仁様 一万円
- 東京都 小倉 真吾様 一万円
- 千葉県 村田 大悟様 一万円
- 滋賀県 加賀爪純子様 一万円
- 大阪府 西山 悟様 四百万円
- 兵庫県 上村 由美様 一万円
- 社会福祉協議会へ
- 幾 寅 一條節子様より故一夫様生前のご厚志に対するお礼として 十万円
- 幾 寅 中野静子様より故中野榮様生前のご厚志に対するお礼として 一万円
- 幾 寅 三橋富美子様より故三橋基晴様生前のご厚志に対するお礼として 十万円
- 札幌市 北都プレス様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一〇、六五一円

一味園・からまつ園・ごみやろ園・ふくしあへ

- 幾 寅 旭石油機業グループ様
- 幾 寅 株式会社総合センター様
- 幾 寅 幾寅婦人会様
- 幾 寅 株式会社川水道工業様
- 幾 寅 乙 十 様
- 幾 寅 カットハウスいむら様
- 幾 寅 小松建設工業株式会社様
- 幾 寅 J.A.からの南富良野女子部様
- 幾 寅 株式会社ソケイズ様
- 幾 寅 南富サポート(有)様
- 幾 寅 南富自動車リース(株)様
- 幾 寅 南富フーズ(株)様
- 幾 寅 南富林建(有)様
- 幾 寅 南富良野町商工会女性部様
- 幾 寅 南富良野町森林組合様
- 幾 寅 矢萩ほけん堂様
- 幾 寅 株式会社山下電機様
- 幾 寅 株式会社吉岡建設様
- 幾 寅 株式会社秋元忠忠様
- 幾 寅 株式会社大西知幸様
- 幾 寅 株式会社佐藤知子様
- 幾 寅 株式会社鷹嘴充子様
- 幾 寅 株式会社富樫秀雄様
- 幾 寅 株式会社平川ミツ子様
- 幾 寅 株式会社三橋富美子様
- 幾 寅 株式会社山西すみ子様
- 金山 山 石川商店様
- 金山 山 畜の未来夢を伝える会様
- 金山 山 ベンキ屋金山美塗様
- 金山 山 相蘇貞雄様
- 下金山 株式会社永井工務店様
- 下金山 石川幸則様
- 富良野市 株式会社コダマ様
- 富良野市 株式会社西川食品様
- 富良野市 J.A.からの旅行センター様
- 富良野市 メガネのデ・アイ様
- 富良野市 梅下朱美様
- 富良野市 白澤英二様
- 中富野町 向井輝雄様
- 上富野町 菅野宏一様
- 東神楽町 市川哲男様
- 旭川市 旭川大丸ケササービス(株)様
- 旭川市 北北海道防犯協会福祉塾様
- 旭川市 杉本正人様
- 帯広市 戸塚一衛様
- 帯広市 小牟禮峰行様
- 大樹町 山内艸太郎様
- 浦幌町 大野健一様
- 砂川市 加藤英司様
- 岩見沢市 須田勝雄様
- 北広島市 大西和明様
- 札幌市 株式会社特殊衣料様
- 札幌市 経専北海道保育専門学校様
- 札幌市 内田美江様
- 札幌市 鎌田英治様
- 札幌市 松井恵子様
- 札幌市 三森輝夫様
- 札幌市 吉岡繁勝様
- 札幌市 吉田律子様

☆お誕生おめでとう

金山 松川 聡太郎そうたろう
平成30年7月18日生まれ

★お悔やみ申し上げます

幾 寅 三橋 基 晴(80)
平成30年7月8日逝去

金山 山田 健 吾(97)
平成30年7月8日逝去

幾 寅 一條 一 夫(81)
平成30年7月13日逝去

幾 寅 中野 榮(86)
平成30年7月23日逝去

幾 寅 松木 聖 也(28)
平成30年7月31日逝去

南わたしたちのまち

(平成30年7月末日現在)
人口2,532人(△4)
男 1,276人(△3)
女 1,256人(△1)
世帯数1,390戸(0)
()内は前月比

